

# ITOSUGI

## いとすぎの丘



オープンキャンパス



いとすぎ祭

### オープンキャンパス 2016



7月23日と8月18日の二日間、オープンキャンパスを開催しました。学内を見学するキャンパスツアーや教職員による入試相談コーナー、模擬授業体験などに多くの方が参加して下さいました。



体育祭

- 学生生活
  - いとすぎ祭・体育祭
  - 自治会主催講演会
  - タイ・ミャンマー国際保健医療支援実習報告
  - 新入生合宿研修
  - イギリス語学研修
  - クラブ紹介
  - RCT☆LINK
- 大学の活動
  - オープンキャンパス2016
  - 里帰りイベント紹介
  - 後援会の活動
  - Academic Library
- Information

## いとすぎ祭

### 第13回いとすぎ祭を終えて

3年 黒木 美来乃

第13回いとすぎ祭のテーマは「常笑気流」です。大学全体だけでなく地域の方にも参加していただき、笑顔で楽しめるような学祭にしたいという学生の思いが込められています！そんなたくさんの笑顔に包まれたいとすぎ祭にするため、実行委員一丸となって1年間という長い時間をかけいとすぎ祭成功のために準備を進めてきました。

実行委員一人一人がそれぞれの仕事を進めていく上で、私たち学生だけでなく、先生方、地域の方々、そして企業の方々にたくさんのご協力をいただきました。当日の成功のために念入りの打ち合わせを何度も何度も行いました。そして実行委員同士も企画ごとや企画を飛び出して話し合いを行い、試行錯誤を繰り返しました。準備を進めていく中でうまくいかないこともたくさんありました。しかし、「いとすぎ祭を成功させたい」という気持ちが実行委員を一つにしたのだと思います。

いとすぎ祭当日は、青空に恵まれ、たくさんの来場者の方々にお越しいただきました。それぞれの企画に



足を運んでいただき、大変盛り上がりました。萬屋育子さんによる講演会や青いベンチでお馴染みのサスケさんのライブパフォーマンスは大変貴重な機会でした。

校内を歩いているとたくさんの笑顔があり、大きな充実感がありました。

今回いとすぎ祭を終えて、このいとすぎ祭にはたくさんの方々関わっていて、1人の力ではいとすぎ祭の成功はなかったです。実行委員全員の力があってこそ、いとすぎ祭がより良いものになったのではないかと私は思います。本当にありがとうございました。

## 体育祭

### 体育祭の変化

平成28年度 体育祭委員会委員長 3年 深津 小百合

今年度の体育祭では、バレーボール・キックベース・ドッジボール男子戦・ぐるぐるバットの4種目を行いました。前年度までは男女混合のドッジボールも行っていたのですが、けが人が出てしまったことなどか



ら、キックベースへ変更しました。キックベースでは順番に打順が巡り、守備にはポジションがあるため運動が苦手な人でも役割を持って参加することができ、とても好評でした。

また、チームごとのミーティングを例年は1回でしたが、2回に増やしたことで作戦や参加競技の分担について参加者の考える時間が増え、メンバー間でのコミュニケーションがよくとれていたように思えます。特に1年生は入学して1ヶ月ほどで分からないことだらけの中、2・3年生がリードして教えるなどし、そこから普段でも声を掛け合うきっかけになったりしています。

昨年の運営反省点から実行委員でのミーティングを重ね、「今年を変える年にしよう」と決めていましたが、実行委員だけでなく参加者からも、楽しくできてよかったと多くの感想をもらうことができ、目標達成できたかなと思います。来年度についても更に改善し、よりよい学内行事になっていくことを期待しています。

## 自治会主催講演会

### 新たなことに挑戦する意義

3年 小出 淳貴

今年六月に開催した自治会主催の講演会を通して得た経験や、気づきについて述べたいと思います。まず、この企画を行うにあたって、自治会内に企画をする部署がなかったため、新たに企画部を立ち上げることから始まりました。これは、自治会発足以来の出来事であったことから、規約の追加・変更が必要であり、自治会役員や、担当の先生方と何度も協議を繰り返し、それと並行して講演会開催について事務局や学内の委員会の承認を得るなど、手探りで関係各所と調整を進めていきました。学年も3年生へと上がり、日常の講義や課題などに追われる中、限られた時間での調整は非常に大変だった記憶があります。

特に、自分が指示を出す立場として、学年の違う講演会運営メンバーとの連絡調整や情報伝達を行う際にはスムーズにいかないことが多く苦勞をしましたが、今となっては良い経験にもなったと思います。

講演会当日、細かなハプニングが多々起こりました



が、頼もしいメンバーたちが、臨機応変に対応してくれたおかげで、無事に終えることができました。

講演会開催に際し、自分の見える所やそれ以外のところでもたくさんの方が動いてくださっていたことを強く感じ、自分はとても「人」に恵まれた環境にあるのだと改めて気づくことができました。

最後に、この場を借りて、講演会開催に多大なご協力を賜りました先生方や、事務局をはじめとする関係各所の皆様に感謝申し上げます。

## タイ・ミャンマー国際保健医療支援実習

### 国際保健医療支援実習での学び

3年 曾我 大翔

私は、以前から様々なメディアで日本の多くの支援団体が、国外でも支援を行っているを知っていたため、自分も携わりたいという好奇心がありました。この大学は国際支援への取り組みが多く、実際に現地に行き学びたいと考えこの実習に参加しました。タイとミャンマーを訪問して都市部と地方の施設の差を感じまし



た。都市部は日本と同等の病院や施設、設備、人材はありますが、地方では飢餓に苦しむ人、適切な治療を受けることができずにいる人もいました。両国は、道路状況が整っておらず、警察官の手により交通整理を行っているため交通渋滞が多く見受けられました。そのため、救急車が進めずに搬送が遅れたり、そのことを知っているためあえて救急車を呼ばない人もいたりします。ミャンマーは、市レベルの大きな病院に医師1人、看護師1人の状況があり医療者が足りていません。このような状況を改善しようと他国も支援をしています。物資だけでなく、人材の供給や現地指導など赤十字やJICAなどが協力しています。他国で支援を行うためには、その国の文化や価値観を知る事が大切だと学びました。両国は、宗教を重んじる国であり、生活習慣、医療現場にも宗教が関わるため、日本では当たり前なことでも、これらの国では違うことも多くありました。実際に現地に行き、目の当たりにすることで支援の必要性が実感でき、学びの多い実習でした。私が今できることを考え、将来国際支援に携わりたいと思っています。

## 新入生合宿研修

### 赤十字の看護学生としての四年間

1年 加藤 妃菜

「赤十字の看護学生として私には何ができるのだろう」そう考え始めたのは、新入生合宿研修へ行ってからのことです。恥ずかしながら、それまで私は赤十字といえば「献血」や「病院」といったイメージしかなく、この学校に入学しながらも自分が赤十字の看護学生であるといった自覚はありませんでした。具体的にこんな看護師になりたい、看護師になってからこんなことがしたいと考え始めたのも合宿研修へ行ってから



のことです。合宿研修は私にとってそれほど学んだことが多く、考えることが多い機会だったのです。

合宿研修初日の四月二十二日、私たちは学校で二時間ほどの講義を受けてから明治村へ向かいました。講義では赤十字の基本原則などについて学び、明治村では日本赤十字社中央病院病棟や北里研究所本館・医学館など医療に関する貴重な建物を中心に見学しました。その後宿泊施設であるあいち健康プラザへ移動し、小集団活動の意義や方法について学んだ後、看護を学び始める今の気持ちを確認し、大学四年間の目標を立てました。また、そこで立てた目標を達成するにはどうすればよいのか具体的な方法を出して発表しました。その際手伝いに来てくれていた四年生と意見を交換する機会があったのですが、考え方の違いに驚かされたのを覚えています。最後に先輩方が考えてくださったレクリエーションで同期生との仲を深めました。入学してから三週間ほどしかたっておらず、なかなか全員と話す機会がなかったため、このレクリエーションのおかげで仲が深められてよかったです。

二日間という短い間でしたが学んだことや得たことが多く、とても充実した時間を過ごすことができました。この合宿研修で決めた目標に向かい努力をすることで、少しでも理想の看護師に近づけるようこれからの四年間を過ごしていきたいと思います。

## イギリス語学研修

### 世界中の人々が集まる地で

1年 山路 理華

夏休みを利用して、イギリス語学研修に参加させていただきました。イングランド南西部のプリマスという歴史ある港湾都市で、3週間ホームステイをしながら英語を学びました。現地の空気を肌で感じ、文化の違いを知ることは大変興味深く、美しい海の景色は特に心に残るものでした。

語学学校のクラスは少人数で編成され、本や地図でしか見たことのない国から来たクラスメイトとの学びはとても新鮮でした。主に会話が中心で自分の考えを述べたり、文法を勉強したりしました。また、病院、ホスピス、海上救援、赤十字社などの様々な医療機関と施設を訪問し、イギリスの医療や日本との活動の違い



いを知りました。

時に、相手に言いたいことが思うように伝えられず、悔しい思いしたこともありましたが、周囲の人々はよく耳を傾けてくれました。相手に寄り添い、理解しようとする姿勢が人と接する際に重要であることを、身をもって経験することができました。

将来、看護職者として私たちが関わる人々は、誰もが日本語を話せるとは限りません。英語をはじめとする外国語や異文化への関心と理解は、コミュニケーションを円滑にするだけでなく、支え合って生きていくためにも大切なことであると考えています。

学生という貴重な時間をいただき、本研修のために支援して下さった多くの方々にとっても感謝しています。今回得た多くの経験を胸に今後の学生生活を送っていきます。

## クラブ紹介

### 球蔵 (たまぞう)

3年 折井 朝美

私は、バレーボールサークル“球蔵 (たまぞう)”のサークル長を務めている三年の折井です。球蔵は、週1回体育館を使用し、バレーボールを行うサークルです。バレーボールの経験者も、そうでない人も、バレーボールを通して体を動かし、心を通わせることができる場です。球蔵に参加する人たちは、友達同士で



参加ことが多いのですが、球蔵が出会いの場になって、新たな友達となって仲良くなるということも多いです。私も球蔵を通して大切な友達ができました。中高バレー部だったという共通の話題で盛り上がり、学校以外でも会うようになり、悩みごとや嬉しいこと、悲しいこともすべて話せる、そんな友達との出会いの場となりました。

また、学外活動“球蔵ビーチバレー合宿”も前年度から2年連続開催しました。合宿の計画を立て、人数把握、宿の確保、食の管理など苦労することはたくさんあります。しかし、数日間を共に過ごすことで、学内だけでは行えない、学年の垣根を越えた交流ができる機会になっていると感じます。参加者のみんなの笑顔や、来年もやりたい！という声を聞くと活動の励みになります。

球蔵は、バレーボールを通して普段の学校生活だけでは体感できない、学年を超えた交流や仲間との出会いがある、笑顔あふれる、そんなサークルだと自負しています。

## RCT☆LINK

### 自分自身で考えるということ

2年 徳武 憂希

私は、大学生活を約1年半通して学んだことがあります。それは“私自身で考えることの大切さ”です。

災害サークルDMACというサークルの長を務めています。サークル長は他のメンバーとの日程調整や活動内容の検討など、しなければいけないことが沢山あり、大きな責任を伴います。学業との両立も簡単なことではありません。プレッシャーに負けてしまいそうになる時もありますが、‘看護の知識だけでなくあらゆる分野の知識を身に付けたい私’、‘被災者の方々のためにサークルとして何かできることはないか考えている私’と自分自身がどうすべきかを常に意識して日々の生活を送っています。

何かを達成しようと思ったとき目標を設定することで前へ進めることができました。サークルでの活動は色々困難なこともあります。少しずつでも目標に向けて私がサークルのためにできることをしていきたいです。私が苦しかったときに支えてくれた友達、相談に乗ってくれた先生方、迷惑をかけたサークルの皆、



そして家族に感謝の気持ちを忘れることができません。1年半を通して様々な‘私’と出会い体験できたことは必ず私の成長の糧となっていると思います。

次回 RCT☆LINK

⇒ 1年 山本遥香 さん

## オープンキャンパス2016

### オープンキャンパスに参加して

4年 岩本 菜美

私は、8月18日に開催されたオープンキャンパスに、学生スタッフとして参加しました。担当は、母性看護学実習室で、妊婦体験、胎児・新生児の心音聴取体験、沐浴などを行いました。

妊婦体験では、参加者に10kgの妊婦ジャケットをお腹につける手伝いをしました。参加者の方々は、その重さに驚き、動作することの大変さを実感し、このような経験した母親へ感謝の気持ちを述べられました。模擬授業の沐浴は、看護学生が担当し手技を見せ、実習の体験談をお話しました。とても楽しそうに沐浴を見学して下さり、私たち学生スタッフも大変嬉しく思いました。

私も、高校3年の夏に本学のオープンキャンパスに参加しました。そこで、妊婦や老人体験、在校生との交流を通じて看護がどのようなものか想像でき、楽しそ



うだなと感じました。今回、参加した高校生の皆さんも、看護の幅広さや楽しさに加え本学に興味をもってもらえたらとても嬉しく思います。

## 里帰りイベント紹介

### 第5回里帰りイベントを終えて

日本赤十字豊田看護大学同窓会 理事 森本 浩史

平成28年10月22日(土)、母校である日本赤十字豊田看護大学の食堂で、『同窓会 第5回里帰りイベント』を開催し、同窓生は第一期生から在校生まで、そして教職員の皆様にもご参加いただき、大変充実したイベントとなりました。

『里帰りイベント』は、同窓生(卒業生・在校生)を対象に、同窓会が事業の一環として毎年主催しております。講演会と食事会を通し、卒業生のモチベーション維持向上や母校への帰属意識の向上を図るとともに、同窓生間の交流を図る事で、臨床での経験や学びを共有し、在校生にとっては卒業生の“生の声”を聞



いて頂く機会となっています。

今回は、母校の名誉教授であり、第一期生在学時から教壇に立たれていらっしゃる奥村潤子先生を講師としてお招きし「看護師としての自分史」というテーマでご講演いただきました。先生が看護師を志された背景から、新人～管理職としてのご経験、「学びの必要性」を感じられ再度大学へ入学された理由など、これまで実践されてきた“看護”や、お人柄がうかがえる大変貴重な内容でした。その後の食事会においても講演頂いた内容や先生との思い出に話が弾み、和やかな雰囲気でご会が進みました。

奥村先生、そしてご参加いただいた皆様、ありがとうございました。今後も同窓会の活動に継続してご参加いただけるよう、役員一同尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 後援会の活動

### 平成28年度後援会 会長挨拶

後援会 会長 梶田 寿季子

今年は東日本大震災の復興もまだ途中にもかかわらず、4月の熊本地震、大雨災害と立て続けに災害が発生しました。被災者の方々に一刻も早い復興を心からお見舞い申し上げます。また、日本赤十字社の早い支援活動を知り、赤十字の役割を再認識しました。災害支援の最前線に立ち期待に応えられるように、学生の皆さんは今学ぶべき事を学び、自分の糧とし実践できる看護師を目指して欲しいと思います。

後援会活動では自治会支援として「いとすぎ祭」の開催支援金、老年看護実習用「経管栄養シミュレータ」の導入助成を行ないました。来年度は、新しい試みとしてチューターさんと保護者が話せる場を設ける

予定です。

大学の発展に貢献できる後援会として活動していきますので、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。



平成28年度後援会役員一同

## Academic Library

### ググるより引用できる確かな学術情報を；電子ブックのご案内

図書館司書 中尾 明子

今年1月、初めて電子ブックを45タイトル導入したのを皮切りに、2月に21タイトル、今年度に入って10タイトルを購入して、8月末現在76タイトルをPC、タブレット端末、スマホ上で閲覧、ダウンロード（著作権範囲内）ができるようになりました。

学内設置のPCどこからでも利用ができ、著作権範囲内なら印刷できます。また、リモートアクセスを利用すれば、自宅、実習先、帰省先でも読むことができるのは、電子ブックならではの特長です。

スマートフォンの普及により、より簡単に、思いつ



QRコードでそのタイトルにひとつ飛び！（要リモートアクセス手続）



冊子体でも所蔵している電子ブックは書架に案内があります。

いたら即、調べ物ができるようになりました。しかし、その情報は本当に正確でしょうか？ Wikipediaの情報に典拠の怪しいものもあることが指摘されています。更新されない情報もあります。Wikipedia情報に図書館員の有志が典拠をつけるボランティア活動も始まっていますが、増え続ける情報にどこまで奉仕できるでしょうか、疑問です。

そこで、おすすめしたいのが電子ブックです。まだまだタイトル数に不足はあるものの、電子ブックでキーワード検索すれば全タイトルの全文から検索してくれます。レポート等に引用できる学術情報を探すのに、電子ブックをぜひ活用してください。引用の典拠を書くことによって、あなたのレポートの質が上がります。

# Information

## 日本赤十字豊田看護大学看護学部看護学科(平成29年度)入学試験日程

| 試験の種類   | 募集人員 | 出願期間                                      | 試験日  | 合格発表             | 入学手続期間                                   | 選 抜 方 法 (科目等、配点) ※3  |
|---|------|---|--|------------------|--|--|
| 一般入学試験  | 50名  | 平成28年<br>12月9日(金)～<br>平成29年<br>1月19日(木)必着 | 平成29年<br>1月28日(土)                          | 平成29年<br>2月6日(月) | 平成29年<br>2月7日(火)～<br>2月14日(火)<br>15:00まで | 【必須科目】<br>国語総合(古文・漢文を除く) (配点:100点)<br>コミュニケーション英語I・II (配点:100点)<br>英語表現I (配点:100点)<br>【選択科目】※5<br>次の①、②、③から1つを選択<br>① 数学I・数学A【数学A】の出題範囲は「場合の数と確率」<br>「図形の性質」より出題<br>② 化学基礎・化学<br>③ 生物基礎・生物 |
| 大学入試センター試験<br>注:それぞれの入試日程につきましては出願の際に必ず募集要項を確認して下さい。お願いします。 | 5名   | 平成29年<br>1月4日(土)～<br>平成29年<br>1月13日(金)必着  | 平成29年<br>1月14日・15日<br>本学での個別試験<br>は実施しません。 | 平成29年<br>2月6日(月) | 平成29年<br>2月7日(火)～<br>2月14日(火)<br>15:00まで | 学力検査<br>【必須科目】<br>国語総合(近代以降の文章) (配点:100点)<br>英 語 (英語リスニングを除く) (配点:200点満点を100点満点に換算)<br>数学I・数学A (配点:100点)<br>【選択科目】<br>理 科<br>生物基礎・化学基礎の2科目<br>又は<br>生物、化学から1科目を選択                          |

## 平成28年度公開講座(下半期)

| 領域    | 日 時                          | 講 座 名                              | 内 容   | 定員  | 備 考                  |
|-------|------------------------------|------------------------------------|---|-----|----------------------|
| 母性看護学 | 平成29年2月4日(土)<br>13:30～16:45  | シリーズ 不妊を学ぶ<br>～妊娠力を高める食事について考えよう～  | 「妊娠力」を高める食事についての講座を行い、その後はアロママッサージ、不妊を経験された方々のおはなし会を予定しております。   | 40名 |                      |
| 小児看護学 | 平成29年2月25日(土)<br>10:00～11:30 | 子どもの心を育む<br>遊びの実際                  | 遊びは、子どもの体とこころの成長に必要不可欠なものです。親子一緒に思いきり遊び、遊びの大切さについて考えましょう。遊んだ後の交流会では、日常的な困り事や心配事について話し合います。            | 15組 | 子ども対象<br>年齢<br>:3～6歳 |
| 基礎看護学 | 平成29年3月2日(木)<br>10:00～12:00  | 体のアライメントを<br>整えよう<br>～健康的な身体を目指して～ | 身体のバランスを保つ体幹アライメントを整える簡単な運動を紹介します。健康的な身体を目指して、下肢を支える筋力と骨密度を測定し、大学の敷地をウォーキングする予定です。運動のできる服装と靴でご参加ください。 | 20名 | 年齢不問                 |
| 老年看護学 | 平成29年3月7日(火)<br>10:00～11:30  | 認知症について                            | 日本の65歳以上の7人に1人は認知症だと言われています。この講座は、これからもっと増えると思われる、認知症高齢者の上手な対応についてお話します。また、脳が活発に働く、楽しい運動も紹介したいと思います。  | 50名 |                      |

## 平成27年度 消費収支計算書

平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日

| ■事業活動収入の部 (単位:円) |               |               |               |            |
|------------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 区分               | 科 目           | 予算額           | 決算額           | 差 額        |
| 教育活動収入           | 学生生徒等納付金      | 913,880,000   | 904,100,000   | 9,780,000  |
|                  | 手数料           | 26,451,000    | 22,664,420    | 3,786,580  |
|                  | 寄付金           | 3,791,000     | 5,036,776     | △1,245,776 |
|                  | 経常費等補助金       | 115,051,000   | 105,025,896   | 10,025,104 |
|                  | 付随事業収入        | 2,150,000     | 2,150,280     | △280       |
|                  | 雑収入           | 4,245,000     | 5,621,797     | △1,376,797 |
|                  | 内部取引          | 4,609,000     | 4,742,166     | △133,166   |
|                  | 教育活動収入計       | 1,070,177,000 | 1,049,341,335 | 20,835,665 |
| 外教育活動収入          | 受取利息・配当金      | 13,409,000    | 13,710,558    | △301,558   |
|                  | その他の教育活動外収入   | 0             | 0             | 0          |
| 教育活動外収入計         | 13,409,000    | 13,710,558    | △301,558      |            |
| 特別収入             | 資産売却差額        | 0             | 0             | 0          |
|                  | その他の特別収入      | 5,227,000     | 7,081,768     | △1,854,768 |
| 特別収入計            | 5,227,000     | 7,081,768     | △1,854,768    |            |
| 事業活動収入計          | 1,088,813,000 | 1,070,133,661 | 18,679,339    |            |

| ■事業活動支出の部 (単位:円) |               |               |               |            |
|------------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 区分               | 科 目           | 予算額           | 決算額           | 差 額        |
| 教育活動支出           | 人件費           | 609,220,000   | 557,266,015   | 51,953,985 |
|                  | 教育研究経費        | 410,697,000   | 387,888,402   | 22,808,598 |
|                  | 管理経費          | 46,522,000    | 45,014,670    | 1,507,330  |
|                  | 内部取引          | 16,359,000    | 17,648,900    | △1,289,900 |
|                  | 教育活動支出計       | 1,082,798,000 | 1,007,817,987 | 74,980,013 |
| 外教育活動支出          | 借入金等利息        | 0             | 0             | 0          |
|                  | その他の教育活動外支出   | 0             | 0             | 0          |
| 教育活動外支出計         | 0             | 0             | 0             |            |
| 特別支出             | 資産処分差額        | 0             | 2,037,022     | △2,037,022 |
|                  | その他の特別支出      | 0             | 952,855       | △952,855   |
| 特別支出計            | 0             | 2,989,877     | △2,989,877    |            |
| 事業活動支出計          | 1,082,798,000 | 1,010,807,864 | 71,990,136    |            |
| 基本金組入前当年度収支差額    | 6,015,000     | 59,325,797    | △53,310,797   |            |
| 基本金組入額合計         | △76,635,000   | △67,859,914   | △8,775,086    |            |
| 当年度収支差額          | △70,620,000   | △8,534,117    | △62,085,883   |            |

平成27年度の財務状況は、教育環境維持向上基金創設に伴う第3号基本金への組入れ、アクティブラーニング整備費用等により70,620千円の支出超過予算でしたが、私立大学等経常費補助金「大学改革総合支援事業」においてタイプ1(教育の質的転換)に採択され、教育研究活性化設備整備費補助金施設整備についても採択されたことによる補助金の増額、さらに人件費の減少により当年度収支差額を62,086千円圧縮することができ、8,534千円の支出超過となりました。

## 編集後記

リオデジャネイロ五輪が歓喜のうちに閉幕しました。目標に向かって努力を積んだアスリートたちの姿はもちろん、国境、文化、宗教を越えて尊重し讃えあう彼らの姿に、世界中の人々が感動を覚えたことでしょう。その一方で国際社会はテロの脅威にさらされています。人間同士が如何にしたら理解しあえるのか、考える機会にもなった五輪でした。

さて、「いとすぎの丘」Vol.24をお届けいたします。本号では、自治会主催講演会をはじめ、いとすぎ祭、オープンキャンパス、国際保健医療支援実習などを掲載しています。ご執筆いただいた皆様に深謝申し上げます。

今後もより親近感の湧く紙面にするべく努めて参ります。皆様からのご投稿をお待ちしております。

## いとすぎの丘 Vol.24

発行日/2016年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <http://www.rctoyota.ac.jp/>